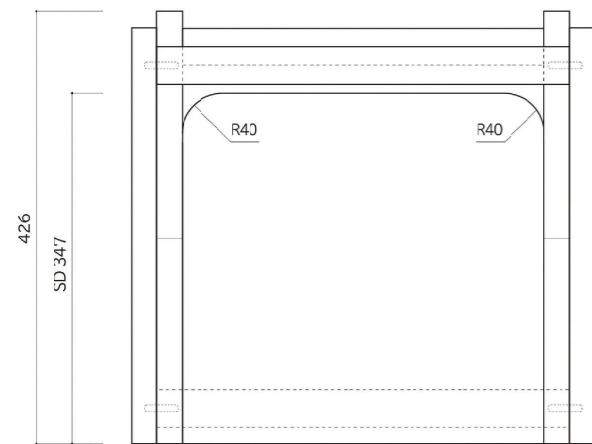
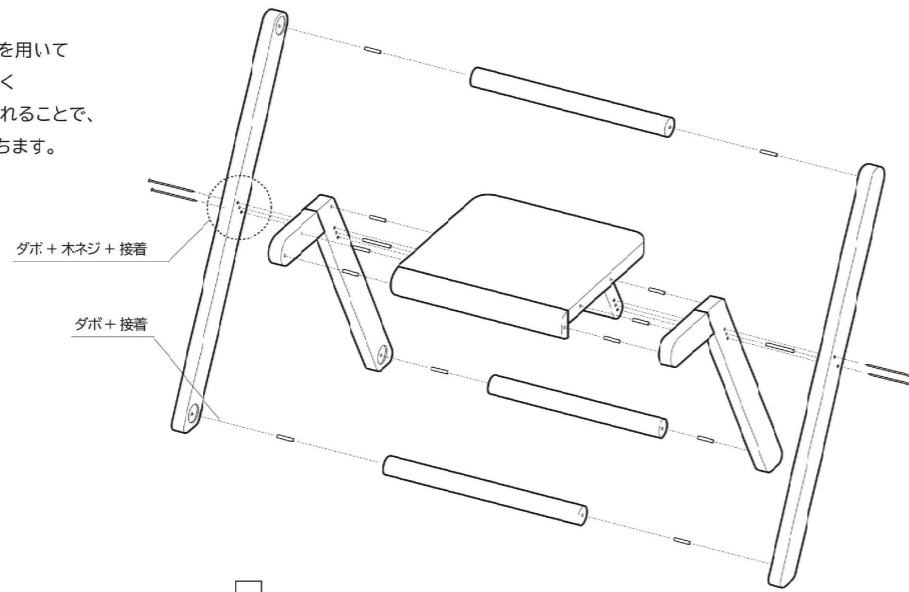
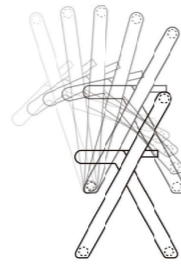


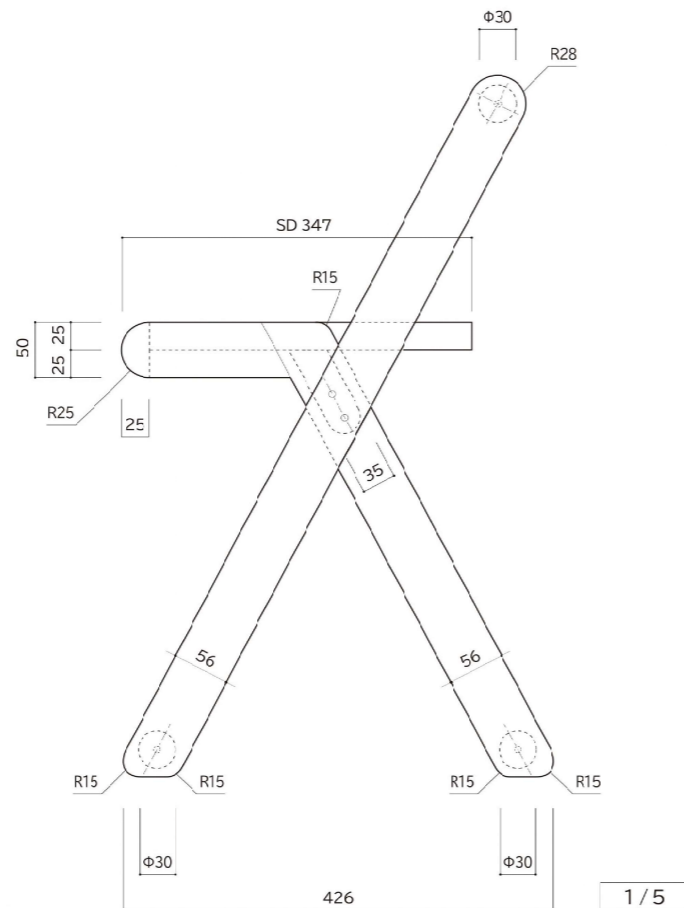
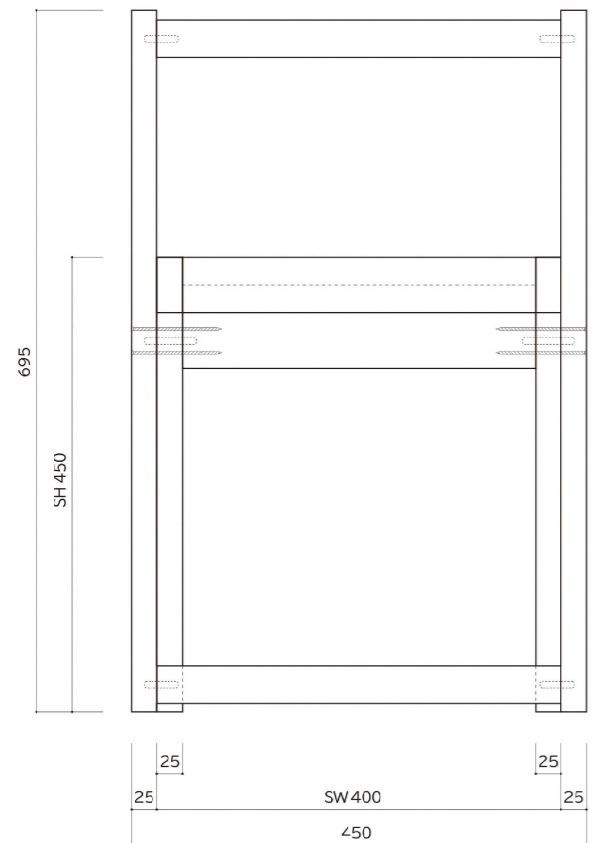
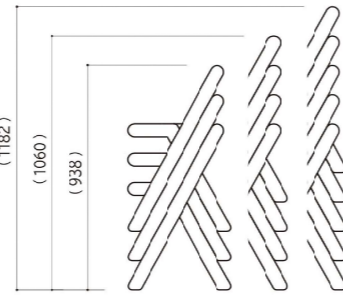
ダボとネジ、木工ボンド等の接着を用いて各部材を順に横方向で固定していく。シンプルな構造で、脚先に貫を入れることで、全体が歪まず強度をしっかりと保ちます。



傾けて回しながら差し込むことで、脚下の貫が当たらずに収まります。



真上にスタッキングできるので安定します。



Shikkuri

見た目にも安心できる、収まりの良いスタッキングチェア



実際の強度 + 見た目の安心感

不特定多数の人が利用して、かつ頻繁に動かしたり出し入れをする椅子には当然ながら強度が求められますが、加えて「見た目の安心感」が重要だと考えています。スタッキングチェアとなると、重ねることを優先して脚が繊細になってしまい、利用者が気を遣いながら座るケースも少なくありません。そこで、機能としての強度と見た目の強度の双方を満たした上で、そこからスタッキングできる方法を模索しました。木製スタッキングチェアとして新たにチャレンジしたことは、前後の脚先にしっかりと貫を入れたことです。積み重ねる上で邪魔になりやすい部分ですが、回しながら重ねる方法にすることで、貫が下の椅子と干渉することなくスタッキングできるようにしました。また、座面高は450mmに設定していますが、子どもや背の低い人など脚がしっかりと地面につかない場合でもストレスなく利用できるように、太ももの裏側が当たるところは大きくRをつけています。

全体的に丸みを帯びたデザインも、親しみやすく広く安心して利用していただくためです。カバンなどをかけられる背もたれの形状や、設営や片付け、ワークショップ中に気軽に移動できるよう背もたれを片手で握りやすい円柱にするなど、実際の現場での使いやすさも特徴です。

安定する垂直スタッキング

背もたれのある椅子の場合、積み重ねると少しずつ前に出っ張るため、徐々に前傾して崩れる危険性があります。実際には崩れなくても、見た目の不安がありますし、重ねた状態で台車に乗せて移動するなどを考えた場合、スタッキング時の安定性は極めて重要です。そこで、前傾しないように真上に積み重ねることができて、かつ上下が噛み合って動きにくいデザインを考えました。